

みんなの生活を支えるために

和田 海莉

小郡市立 東野小学校

私は、六月三日に宝満川浄化センターに行った時に、「へえ。私たちがいつも使っている水をきれいにするしせつがあるんだ。」とびっくりしました。私たちが使った水が、下水道を通り、宝満川浄化センターできれいになっていったからです。

下水道は、私たちが、手洗い、料理、せんたく：等で使った水が流れていく所です。下水道は、私たちが生活するのに欠かせない、大切な所だと思います。けれども、もし、下水道がなかったら：：どうなると思いますか？街中に雨水がたまって、大こうずい（大雨）が起き、よごれた水だらけになってしまいます。そんな下水道の役わりは、全部で四つあります。

まず一つ目は、汚れた水を宝満川浄化センターまで運び、きれいにすることです。二つ目は、汚れた水をたまりなどをなくし、清けつてみんなが住みやすい街にすること、三つ目は、川や池の自然を守ること、四つ目は、大雨による浸水をふせぐことです。これらの役わりがあることで、私たちは、安心して生活することができるのです。

ところで、みなさん。どうやって汚れた水をきれいにしているか、知っていますか？なんと、約六時間もかけて、汚れた水をきれいにしているのです。

まず最初に、下水道の中にあるポンプ場という場所にきます。ここで、水をくみあげて、浄化センターの中に入ります。次に、最初の

エリア、沈砂池で汚水の中の土や砂、大きなゴミ等を取りのぞきます。そして、次のエリア、最初沈殿池に行きます。ここでは、汚水をゆるやかに流し、小さいゴミや泥をしずめます。けれども、この時点では、まだまだ汚れがたまっています。そこで、次のエリア、反応タンクに行きます。ここでは、汚水に、活性くんという微生物をまぜ、空気をふきこませます。実は、活性くんは、泥や汚れを食べてくれるのです。だから、汚水の中に、活性くんを入れます。すると、活性くんが汚れをほとんど食べてくれます。次に、最終沈殿池という場所に着きます。ここでは、反応タンクで、大きなかたまりになった活性くんを沈めて、上ずみを流します。そして、処理した水を検査します。そして最後に、消毒設備で消毒し、放流口から川や海に流します。このように、浄化センターや下水道は、私たちが安全に水を飲むのにもとても重要なものなのです。

だから、その下水道を大切にするために、やってはいけないことがあります。一つ目は、トイレにティッシュを流さないことです。流してしまうと、下水道が詰まってしまいます。二つ目は、料理に使う油。実はこれも流したらだめなのです。流してしまうと、活性くんが、息ができなくなつて、死んでしまうからです。だから、たとえ料理をしなくても、お家の人などに油を流さないようによびかけてください。こういう小さな心がけで、浄化センターの人たちも仕事をしやすくなると思います。